

よくあるご質問

Q なぜこのタイミングで出力制御機器の切替が必要なのか。

A1

出力制御に必要な標準化装置につきましては、国の実証事業で開発が行われていたが、この度、標準化出力制御装置の技術仕様が定まり公開されましたので、切替をお願いするものです。

なお、風力発電協会（JWPA）さまからご提案され採用された「JWPA方式」を全ての風力発電設備に適用することを前提に、九州本土の「30日等出力制御枠（180万kW）」を設定していることから、旧ルール事業者さまも対応の必要がございます*。

※ JWPA方式は、%単位でのきめ細かい制御を必要とするため、標準化装置の設置が不可欠となります。

Q 必要な工事はどこに確認すればいいのか。

A2

切替に必要な手続き（PCSの設定変更、取替、インターネット環境構築、配線工事など）や費用は、風車メーカー、機種により異なりますので、風車メーカー、販売店にご確認ください。

Q インターネット契約は必ず必要なのか。

A3

原則、インターネット環境が必要です。山間部等でインターネット環境が構築できない場合は、メーカーさま等による作業により、あらかじめ1年先までの出力制御スケジュール（固定スケジュール）を登録していただくことになります。

固定スケジュールは、最新の気象予報等を踏まえて制御内容を修正することができないため、インターネット環境を構築した場合と比べ、出力制御の頻度が多くなり、買電量が大幅に少なくなる可能性があります。また年1回、事業者さまの責任においてメーカーさま等による現地設定作業（有料）が必要となります。